東京の“美観”は守れているか：

高さ31mの統一感：旧都計法の時代に定めた美観地区では今でも品格ある街並みを形成

撮影：2010年11月（千代田区丸の内）

◆日比谷濠に面した堂々たる建築群

1933年全国初の美観地区により31mの建物ラインを設定され、その後規制緩和・高層化によって背後の風景は変わりつつあります。歴史的建築の第一生命館、帝国劇場、東京会館等は当時のファサードを残しています。

◆潤いのある道路景観をつくるために

内濠の水面のよる開放的な景観、歴史的な風景資産をもつパノラマ的景観を、さらに充実したものにするためには、銀杏などの街路樹を強剪定としない配慮が必要です。

国土文化研究所　特任研究員　岡村幸二（JRRN会員）